高知大学医学部附属病院

内科

DR.佐藤に聞きました！
キャリアについて教えて！

腫瘍内科

佐藤 拓弥 DR.

sato takuya

Profile
出身大学／関西医科大学
初期研修病院／高知大学医学部附属病院
卒後何年目／3年目
専門分野／固形腫瘍、消化管癌、頭頸部がんなど

Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？

A 医学生の頃、がんに対する新規治療のレポートを課されたことがあり、〝ナノマシン的なもの〟で治療できれば面白そうだと考えました。そこで、ウイルスはある種のプログラミングされた挙動をすることから、遺伝子組み換えウイルスを用いたがん治療の可能性がふと頭に浮かび、調べたところ遺伝子組み換えヘルペスウイルスG47Δを用いた脳腫瘍に対する治療開発が進行中ということが分かり、近未来にがんウイルス療法が実用化されることを切望しておりました。その後臨床試験においても驚異的な治療効果が示され、2021年6月にはテセルパツレブとして保険承認されることとなりました。このように、がん治療開発は日進月歩であり、様々な新しい治療が次々と臨床応用されつつあることがとても刺激的で面白いと感じ、新規治療開発をひとつの生業とする腫瘍内科に興味を持つこととなりました。

医学生時代に、飲み会を通じてですが、当科教授である佐竹先生とお話できる機会に恵まれ、私は高知生まれで両親も高知在住であったことから、研修先として高知大学医学部附属病院を選び、初期研修医として働き始めたのちに、佐竹先生が当科の教授として赴任され、運命的なものを感じました（笑）。佐竹先生のセミナーを拝聴し、さらに腫瘍内科へ興味が湧き、当科をローテートすることとなりました。ご指導のもと、シンガポールで開催された国際的腫瘍学会で発表する機会に恵まれ、その際に名誉ある賞を頂けることとなり、佐竹先生のもとで働きたいと思うようになりました。専攻医として実際働くようになり、高知県に生きるがん患者様の支えとなれるよう、日々努力しております。

Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A 初期研修先としても後期研修先としても、高知大学医学部附属病院です。臨床はもちろんのことですが、たくさん研究をしたいと考えています。大学やがんセンターで臨床と研究の経験を積み、最終的には高知県のがん診療に貢献できればと思っています！

Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？

A 休日は多分野の研究論文や記事などを読んで、知的好奇心を満たしております。休暇を取得できた際には、家族で道の駅巡りや温泉旅行に行くことが多いです。

Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A 知的好奇心のままに、日々を生きるととても楽しいですよ。気になったことは、なんでも調べることをお勧めします！

プログラムの特色

高知大学内科専研修プログラム（腫瘍内科）

各診療科の協力のもと内科専門医取得のための研修をすることはもちろんのこと、腫瘍内科では薬物療法専門医、及び希望者にはサブスペシャルティ領域専門医の資格取得に向けた研修を同時に行います。内科専門研修プログラム専攻と同時に、がん専門医養成コースを履修することにより、学位取得と同時に薬物療法専門医資格取得を目指します。希望者は国立がん研究センターや神戸市立医療センター中央市民病院をはじめ、国内外の研究機関や研究者との国内・外留学を含めた相互交流を行い、新たなエビデンスを創出できる人材を育成します。薬物療法専門医資格及び学位取得後はそれぞれの先生の個性に合わせて、続けて研究活動を行う、更なる専門領域の研修・後進の育成に励む、地域医療発展に貢献するという様々な進路を用意しています。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午　前	病棟業務	カンファレンス 外　来	外　来	外　来	外　来
午　後	病棟業務 カンファレンス （頭頸部外科）	病棟業務 カンファレンス （転移性骨腫瘍）	病棟業務	病棟業務 カンファレンス （外科）	病棟業務

取得可能専門医

- 日本内科学会内科専門医
- 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
- 日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 日本肝臓学会 肝臓専門医
- 日本消化器病学会 消化器病専門医
- 日本食道学会 食道科認定医
- 日本消化管学会 胃腸科専門医
- 日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
- 米国臨床腫瘍学会（ASCO）FULL Member
- 欧州臨床腫瘍学会（ESMO）FULL Member
- 日本肉腫学会専門医
- 日本消化管学会胃腸科専門医

キャリアパス

内科専門研修プログラム専攻医
がん専門医養成コース（がんプロ）
内科専門医
薬物療法専門医
医学博士
内科指導医
薬物療法指導医

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	初期臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知大学病院		幡多けんみん病院、土佐市民病院など	高知大学病院、高知医療センターなど		幡多けんみん病院、土佐市民病院など		薬物療法専門医として、高知大学附属病院を含む基幹病院・研究施設・学術施設に勤務							
										国内・国外留学（希望者）							
診療以外のキャリア	–	–	がんプロ大学院（社会人枠）にて学位取得を目指す														
償還期間消化年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年								

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

ここに記載したのは一つの例であり、国内・外留学や産休・育休など相談に応じて、個別にキャリアパスを組みます。

プログラムの詳細
https://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/technical/file/01naika_pro.pdf

腫瘍内科 HP
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/courses/54/

お問い合わせ↘
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
高知大学医学部附属病院 腫瘍内科
TEL：088-888-0388　FAX：088-880-2192
Mail／ im92@kochi-u.ac.jp